学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例（令和6年度版）

学校名	枕崎市立別府小学校	児童生徒数	122人
-----	-----------	-------	------

○ 令和5年度 振り返りの実際

成果

- 毎時間ごとに振り返る活動と、単元を通して振り返る活動を取り入れた。
- 国語科での「振り返り」を中心に全校体制で取り組むことができた。
- 学年に応じて、ICTを活用した毎時間の「振り返り」に取り組むことができた。

課題

- 校内研修で国語科を中心に「問い」と「振り返り」について研究を進めていく中で、他教科での振り返りの在り方にも繋がるような振り返りの仕方を模索していく必要がある。
- これまでの「わでかいも（分かったこと・できるようになったこと・変わったこと・生かしたいこと・もっと知りたいこと）」の視点での振り返りを他教科に広げていく。
- 毎時間、振り返りの時間を確保することで、次時への学習意欲を高めたい。

○ 令和6年度 振り返りの実際

改善策

<国語科や外国語科，算数科における振り返りの充実>

- 児童が自分の学びを振り返り，次時に生かすことができるようにするため，学習内容を振り返る具体的な視点を示した。（わ・で・か・い・も）
- 学んだことや選択した学びを振り返ることができるように「リフレクションシート」を活用することで，毎時間の振り返りを実現した。

成果等

- 毎時間、振り返りの時間を確保することで，児童の記述入力量も増えてきた。
- ICT活用によるリフレクションシートのストックにより，次時のめあてを立てる際の参考になり，学びの調整につながっている。
- 単元の指導計画と振り返りシートを1枚にして，見通しをもって学習できるようにさせる，1単位時間に1枚のリフレクションシートで，詳しく振り返らせるなど，教科，単元，教師の意図などにより，いくつかの形態で振り返らせることができた。
- 令和6年度鹿児島学力・学習状況調査（児童質問調査）より「1-8 学習した内容について，分かった点や，よく分からなかった点を見直し，次の学習につなげることができていますか。」に対して，当てはまると回答した児童が60.9%であった。